

第7次訓子府町総合計画策定のための

「町民アンケート調査」

結果報告書

令和8年3月

訓子府町

アンケート調査の概要

1. 《調査の目的》

この調査は、第7次訓子府町総合計画（令和9年度～令和18年度）の策定にあたり、町民のまちの現状に対する評価、今後のまちづくりに関する意向、行政に対する要望等を把握し、できる限り町民の意思を計画に反映させることを目的に実施しました。

2. 《調査期間》

令和7年10月1日から令和7年10月24日まで

3. 《調査対象者》

この調査は、住民基本台帳に登載されている満15歳以上＜令和7年4月1日現在＞の町民の方を対象として実施しました。

調査対象者数 3,759人

4. 《調査方法》

町内会、実践会の組織を通じて配布し、インターネットによる回答、または返信用封筒により回収を行いました。

5. 《回収結果》

	今回調査（R7）	前回調査（H27）
配付票数	3,759票	4,470票
回収票数	1,860票	3,052票
回収率	49.5%	68.3%

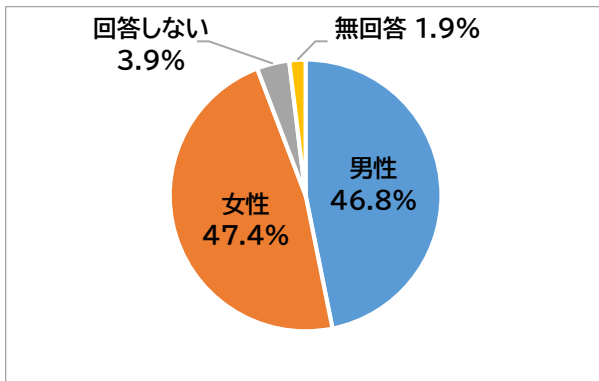
目 次

問12 あなたご自身のことについて、お聞きします。	1
（1） 性別	1
（2） 年齢	1
（3） 職業	1
（4） お住いの地区	2
（5） 現在のお住まい	2
（6） 家族構成	2
（7） 住んでいる年数	2
（8） 転入状況	3
問13 （問12（8）で「生まれてからずっと住んでいる」以外を選んだ方）訓子府町に住むようになった理由は何ですか。	3
問14 買い物や病院への通院について、最も多いと思う内容はどれですか。	4
問 1 あなたは、訓子府町の住み心地についてどう思いますか。	5
問 2 あなたは、これからも訓子府町に住み続けたいと思いますか。	5
問 3 毎日の暮らしの中で、訓子府町の生活環境や行政サービスなどに満足していますか。また、それらについて今後訓子府町が取り組むにあたり、どのくらい重要だとお考えですか。	6
満足度評価と重要度評価の分布図	7
満足度・重要度・ニーズ度順位表	8
満足度・重要度・ニーズ度年代別順位表	9
満足度割合の状況	10
重要度割合の状況	11
問 4 平成29年度から令和8年度までの10年間であなたの訓子府町での暮らしの変化について、どのように思いますか。	12
問 5 今後の生活において、訓子府町に欠かせないと思う施設は何ですか。	12
問 6 人口減少や少子高齢化が進むことで想定される影響について、どのようにお考えですか。	13

問 7	人口減少が想定され、より効率的で持続可能なまちづくりが求められます。今後のまちづくりについて、どのようにお考えですか。	14
問 8	あなたは、訓子府町で自慢できることや、これからも大事に残していきたいと思うことは何ですか。	14
問 9	訓子府町の行政サービスのデジタル化について、どのような手続きのデジタル化を期待しますか。	15
問10	あなたは、訓子府町のまちづくりや町民参加についてどのようにお考えですか。	16
問11	第7次訓子府町総合計画策定にあたり、10年後の訓子府町の「望ましい姿」や「目指すべき方向性」などについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由に記入してください【自由記入】	別冊

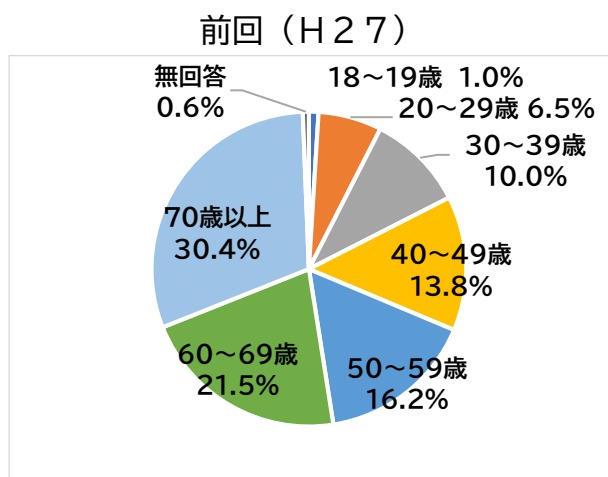
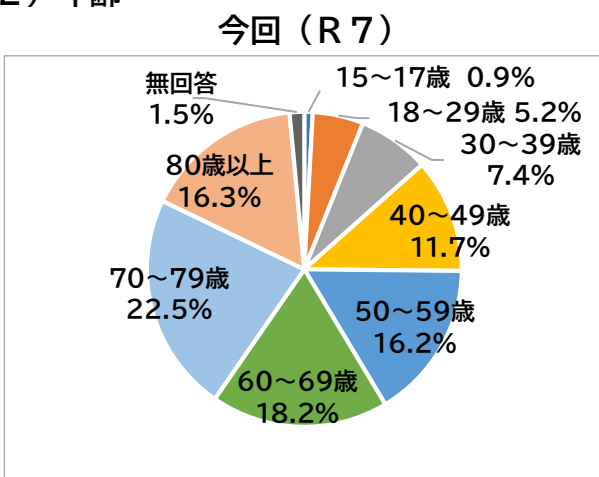
◆個人に関する回答結果の後に、問1からの回答結果とします。
 問12 あなたご自身のことについて、お聞きします。【それぞれ〇は1つだけ】

(1) 性別



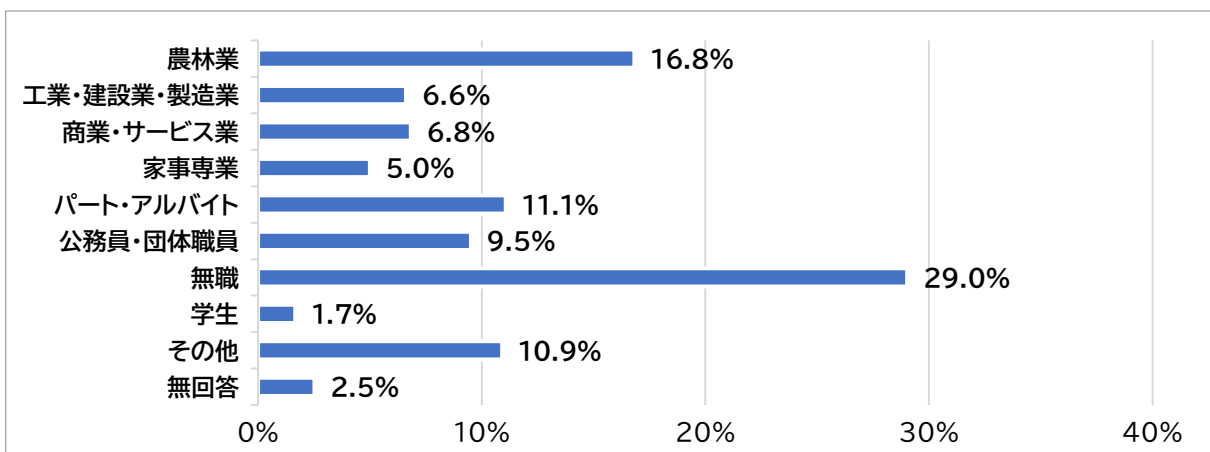
「男性」が46.8%、「女性」が47.4%、「回答しない」が3.9%で、女性が多い結果となっています。

(2) 年齢



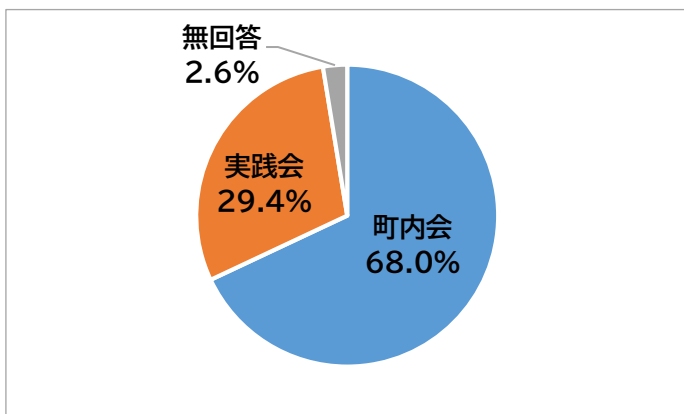
今回は「80歳以上」の区分を増やしました。前回調査と比較すると「60代以上」の割合が51.9%から57.1%まで増加し、「40代以下」の割合が31.3%から25.2%まで減少しています。

(3) 職業



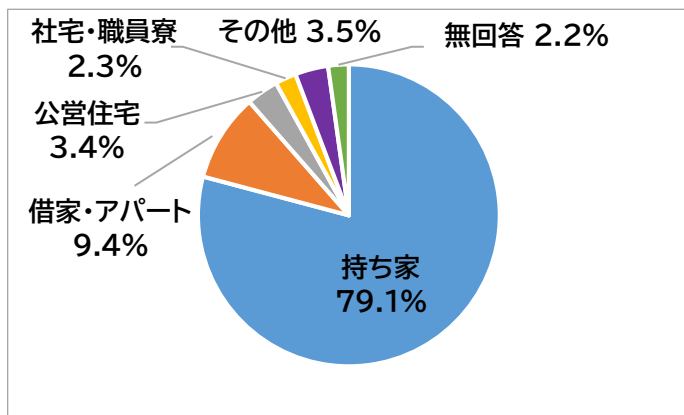
「無職」が29%で最も多く、次いで「農林業」の16.8%、「パート・アルバイト」の11.1%の順となっています。

(4) お住いの地区



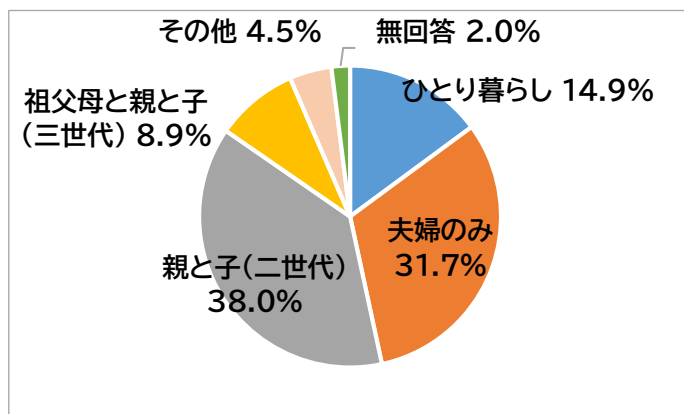
「町内会」が68%、「実践会」が29.4%で、町内会地区が多い結果となっています。

(5) 現在のお住まい



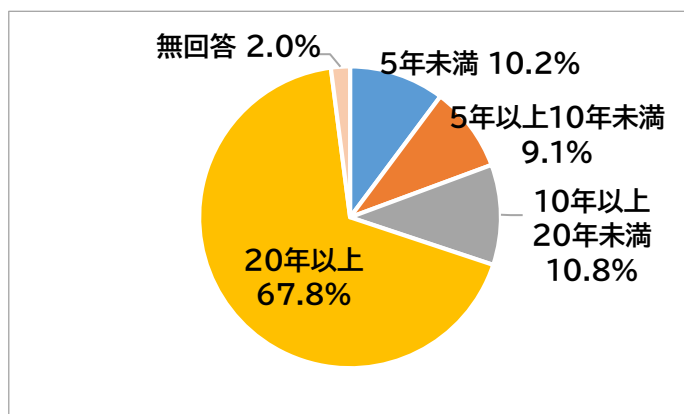
「持ち家」が79.1%で大半を占めており、次いで「借家・アパート」の9.4%、「公営住宅」の3.4%の順となっています。

(6) 家族構成



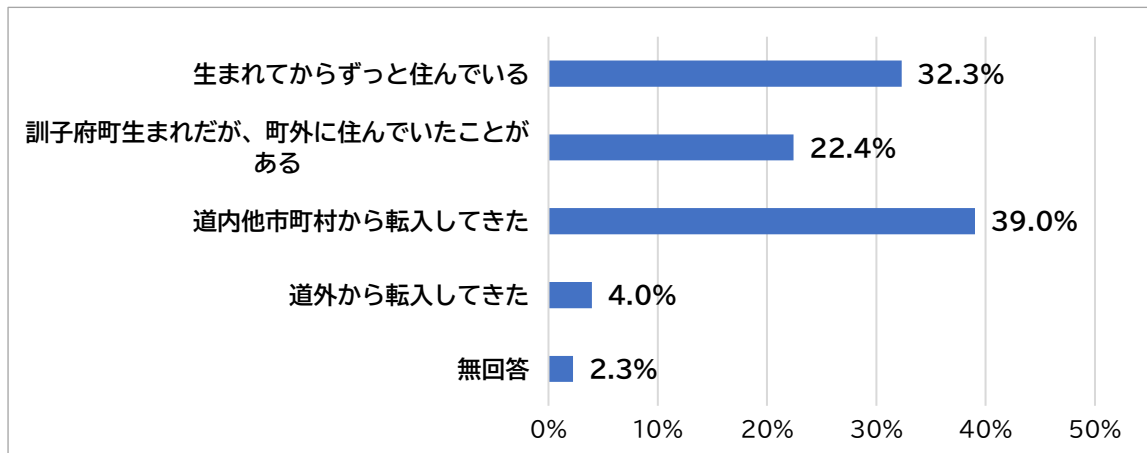
「親と子(二世帯)」が38%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が31.7%、「ひとり暮らし」が14.9%の順となっています。

(7) 住んでいる年数



「20年以上」が67.8%と大半を占めており、次いで「10年以上20年未満」が10.8%、「5年未満」が10.2%の順となっています。

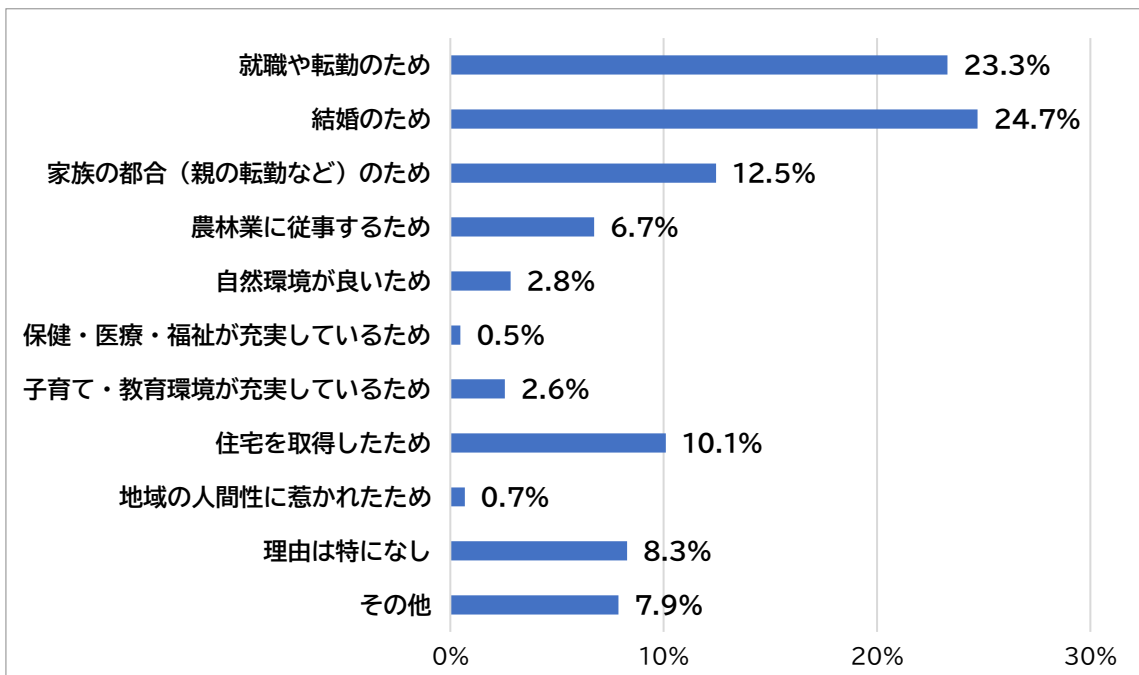
(8) 転入状況



「道内他市町村から転入してきた」が39%と最も多く、「生まれてからずっと住んでいる」の32.3%と「訓子府町生まれだが、町外に住んでいたことがある」の22.4%、合わせて54.7%の方が訓子府町生まれという結果となっています。

地区別：実践会地区では66.4%の方が訓子府町生まれという結果であるのに対し、町内会地区では51.4%にとどまっています。

問13 (問12(8)で「生まれてからずっと住んでいる」以外を選んだ方) 訓子府町に住むようになった理由は何ですか。【〇は2つまで】



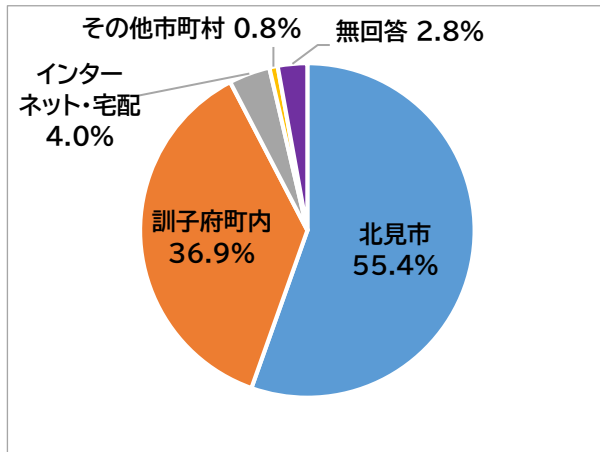
「結婚のため」が24.7%、「就職や転勤のため」が23.3%で、合わせて48%を占めています。

男女別：男性は「就職や転勤のため」が33.1%、次いで「家族の都合(親の転勤など)のため」が12.4%で、女性は「結婚のため」が39%、次いで「就職や転勤のため」が13.1%の結果となっています。

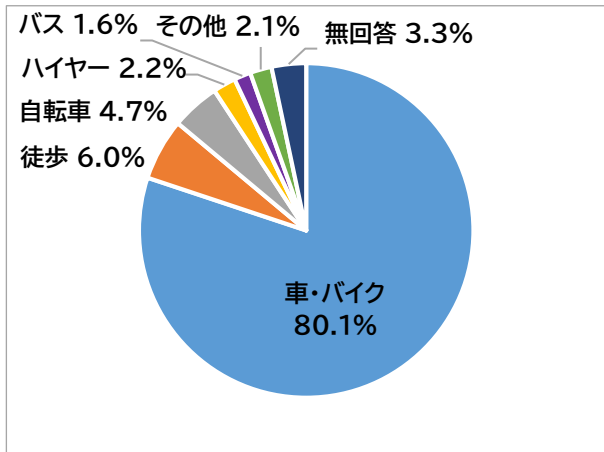
問14 買い物や病院への通院について、最も多いと思う内容はどれですか。【それぞれ○を1つずつ】

【日用品の買い物】

主な利用場所



主な移動手段

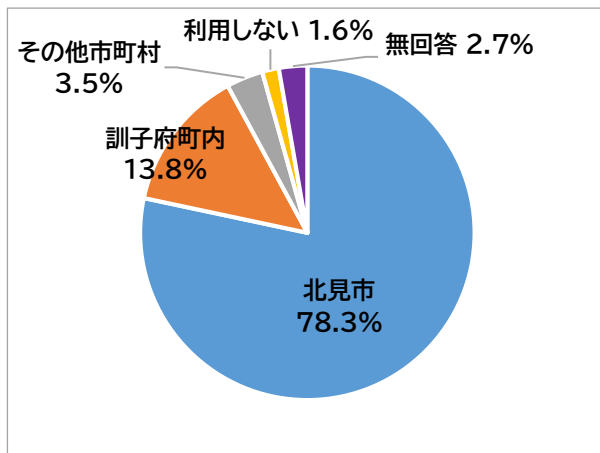


「車・バイク」による「北見市」での買い物が最も多い結果となっています。

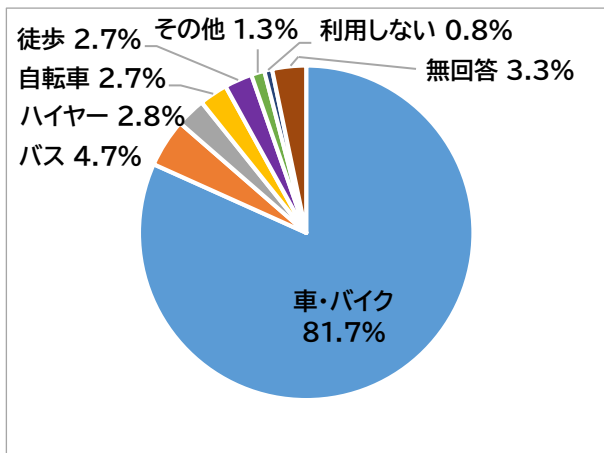
年齢別：「70歳代以上」は「北見市」が36.2%で、「訓子府町」が58.3%、「60歳代以下」は「北見市」が70.5%で、「訓子府町」が24.8%の結果となっています。

【病院】

主な利用場所



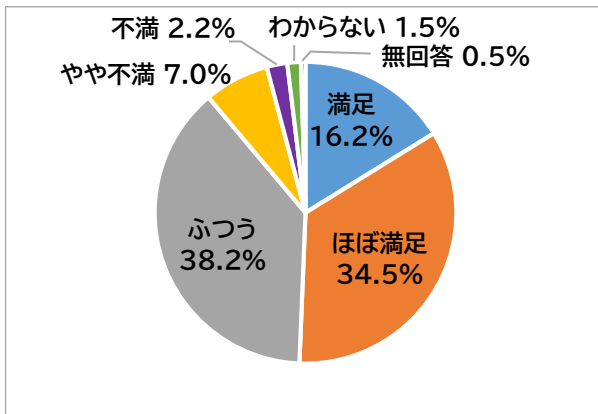
主な移動手段



「車・バイク」による「北見市」への病院が最も多い結果となっています。

年齢別：「70歳代以上」は「北見市」が71.4%で、「訓子府町」が25%、「60歳代以下」は「北見市」が86.3%で、「訓子府町」が7.2%の結果となっています。

問1 あなたは、訓子府町の住み心地についてどう思いますか。【○は1つだけ】

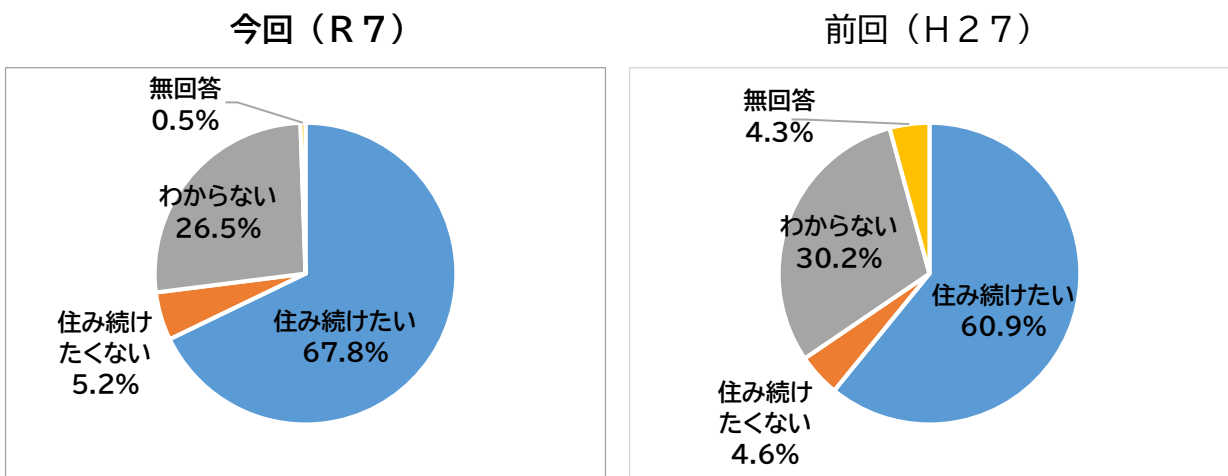


「満足」と「ほぼ満足」合わせて50.7%の方が満足と回答しており、「不満」と「やや不満」合わせて9.2%という結果となっています。

年齢別：「満足」と「ほぼ満足」と回答した割合が最も多かったのが「18～29歳」の36.2%で、次いで「80歳以上」の33.8%、「70～79歳」の33.1%の順となっています。一方、その割合が最も低かったのが「15～17歳」の28%で、次いで「60～69歳」の29%、「40～49歳」の29.8%の順となっています。

職業別：「満足」と「ほぼ満足」と回答した割合が最も多かったのが「農林業」の36.1%で、次いで「公務員・団体職員」の35%となっています。一方、その割合が最も低かったのが「パート・アルバイト」の27.9%で、次いで「商業・サービス業」の30.9%となっています。

問2 あなたは、これからも訓子府町に住み続けたいと思いますか。【○は1つだけ】



前回調査と比較すると「住み続けたい」が67.8%で6.9%増加し、「住み続けたくない」が5.2%で0.6%増加しました。

職業別：「住み続けたい」と回答した割合が最も多かったのが「無職」の77.2%で、次いで「農林業」の75.1%、反対に最も少なかったのが「学生」の19.4%で、次いで「パート・アルバイト」の53.9%となっています。

地区別：「住み続けたい」と回答した割合が実践会地区で70.6%に対し、町内会地区では66.8%となっています。

問3 毎日の暮らしの中で、訓子府町の生活環境や行政サービスなどに満足していますか。また、それらについて今後訓子府町が取り組むにあたり、どのくらい重要だとお考えですか。
【各項目の「満足度」と「重要度」の数字に、それぞれ○を1つずつ】

満足度及び重要度における評価得点に基づき、縦軸を重要度評価、横軸を満足度評価とした散布図を作成しました。

散布図では、満足度及び重要度の評価得点について、それぞれの平均点を基準として、分類された4つの範囲に分けました。

「①満足度：低、重要度：高<強化・見直し領域>（赤色の線内）」に分類される項目は、町民が改善を求める意識が強い取り組みと考えることができます。

評価方法：回答した項目ごとに、次のとおり点数をつけ、項目ごとに平均値を算出
満足：2点 やや満足：1点 ふつう：0点 やや不満：-1点 不満：-2点

■施策の評価について

○重要度の高い施策は、1位が「農業の振興」（評価点：0.95）、2位が「保健対策の充実（予防、検診、健康づくり）」（評価点：0.79）、3位が「子育て施設・支援の充実」（評価点：0.77）となっています。

○満足度の高い施策は、1位が「子育て施設・支援の充実」（評価点：0.58）、2位が「保健対策の充実（予防、検診、健康づくり）」（評価点：0.58）、3位が「ごみの収集やりサイクル」（評価点：0.46）となっています。

○重要度が高く、満足度の低い施策では、「医療の確保と整備」「雇用・就業の場の確保」「企業誘致の推進」などがあります。

<施策の位置付け>

①重要度が高く、満足度が低い（強化・見直し領域）

重要度は高いが満足度が相対的に低く、施策の重点化や根本的な見直しなども含め満足度を高める必要のある領域。

②重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）

重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域。

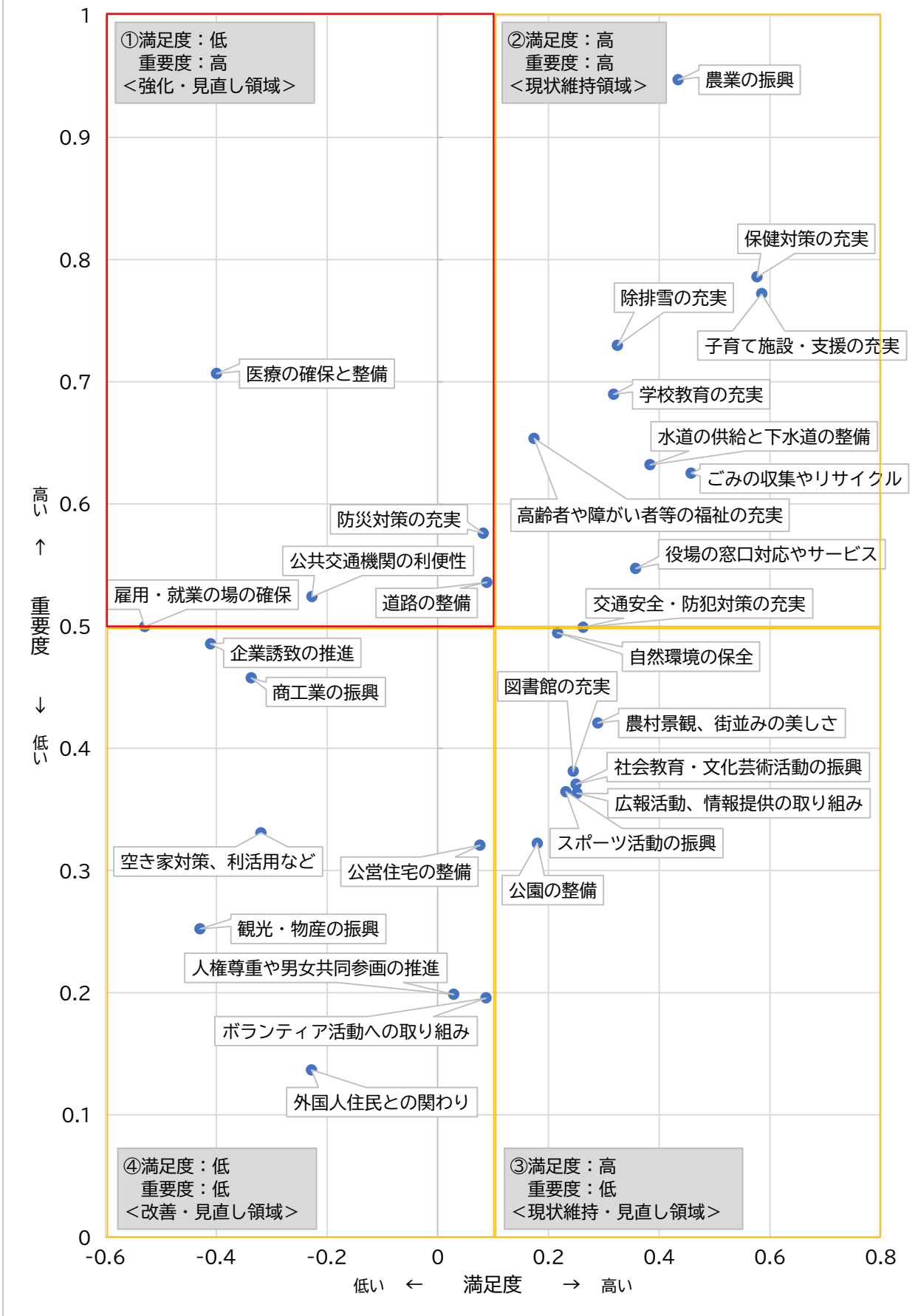
③重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）

重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて見直す必要のある領域。

④重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）

重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものをあらためて見直す必要のある領域。

満足度評価と重要度評価の分布



■満足度・重要度・ニーズ度 順位（ニーズ度順）

（ニーズ度＝重要度－満足度）

項目	施策	満足度		重要度		ニーズ度	
		評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位
保健福祉	医療の確保と整備	-0.40	27位	0.71	5位	1.11	1位
産業・労働	雇用・就業の場の確保	-0.53	30位	0.50	14位	1.03	2位
産業・労働	企業誘致の推進	-0.41	28位	0.49	17位	0.90	3位
産業・労働	商工業の振興	-0.34	26位	0.46	18位	0.79	4位
インフラ整備	公共交通機関の利便性	-0.23	23位	0.52	13位	0.75	5位
産業・労働	観光・物産の振興	-0.43	29位	0.25	27位	0.68	6位
インフラ整備	空き家対策、利活用など	-0.32	25位	0.33	24位	0.65	7位
産業・労働	農業の振興	0.43	4位	0.95	1位	0.51	8位
生活環境	防災対策の充実	0.08	20位	0.58	10位	0.49	9位
保健福祉	高齢者や障がい者等の福祉の充実	0.17	17位	0.65	7位	0.48	10位
インフラ整備	道路の整備	0.09	18位	0.54	12位	0.45	11位
インフラ整備	除排雪の充実	0.32	7位	0.73	4位	0.41	12位
教育文化スポーツ	学校教育の充実	0.32	8位	0.69	6位	0.37	13位
生活環境	外国人住民との関わり	-0.23	24位	0.14	30位	0.36	14位
インフラ整備	自然環境の保全	0.22	15位	0.49	16位	0.28	15位
インフラ整備	水道の供給と下水道の整備	0.38	5位	0.63	8位	0.25	16位
インフラ整備	公営住宅の整備	0.08	21位	0.32	26位	0.24	17位
生活環境	交通安全・防犯対策の充実	0.26	10位	0.50	15位	0.24	18位
保健福祉	保健対策の充実	0.58	2位	0.79	2位	0.21	19位
生活環境	役場の窓口対応やサービス	0.36	6位	0.55	11位	0.19	20位
教育文化スポーツ	子育て施設・支援の充実	0.58	1位	0.77	3位	0.19	21位
生活環境	人権尊重や男女共同参画の推進	0.03	22位	0.20	28位	0.17	22位
生活環境	ごみの収集やリサイクル	0.46	3位	0.63	9位	0.17	23位
インフラ整備	公園の整備	0.18	16位	0.32	25位	0.14	24位
教育文化スポーツ	図書館の充実	0.24	13位	0.38	20位	0.14	25位
教育文化スポーツ	スポーツ活動の振興	0.23	14位	0.36	22位	0.13	26位
インフラ整備	農村景観、街並みの美しさ	0.29	9位	0.42	19位	0.13	27位
教育文化スポーツ	社会教育・文化芸術活動の振興	0.25	12位	0.37	21位	0.12	28位
生活環境	広報活動、情報提供の取り組み	0.25	11位	0.36	23位	0.11	29位
生活環境	ボランティア活動への取り組み	0.09	19位	0.20	29位	0.11	30位

【満足度 評価の高い上位3項目と低い上位3項目（年代別）】

年代	トップ1位	トップ2位	トップ3位
全体	子育て施設・支援の充実	保健対策の充実	ごみの収集やリサイクル
15～17歳	子育て施設・支援の充実	学校教育の充実	保健対策の充実
18～29歳	子育て施設・支援の充実	農業の振興	学校教育の充実
30～39歳	保健対策の充実	子育て施設・支援の充実	除排雪の充実
40～49歳	子育て施設・支援の充実	保健対策の充実	農業の振興
50～59歳	子育て施設・支援の充実	保健対策の充実	農業の振興
60～69歳	子育て施設・支援の充実	保健対策の充実	農業の振興
70～79歳	ごみの収集やリサイクル	保健対策の充実	子育て施設・支援の充実
80歳以上	ごみの収集やリサイクル	役場の窓口対応やサービス	保健対策の充実
年代	ワースト1位	ワースト2位	ワースト3位
全体	雇用・就業の場の確保	観光・物産の振興	企業誘致の推進
15～17歳	公共交通機関の利便性	医療の確保と整備	観光・物産の振興
18～29歳	外国人住民との関わり	空き家対策、利活用など	雇用・就業の場の確保
30～39歳	雇用・就業の場の確保	医療の確保と整備	観光・物産の振興
40～49歳	医療の確保と整備	雇用・就業の場の確保	観光・物産の振興
50～59歳	雇用・就業の場の確保	観光・物産の振興	医療の確保と整備
60～69歳	雇用・就業の場の確保	企業誘致の推進	医療の確保と整備
70～79歳	雇用・就業の場の確保	観光・物産の振興	商工業の振興
80歳以上	雇用・就業の場の確保	空き家対策、利活用など	企業誘致の推進

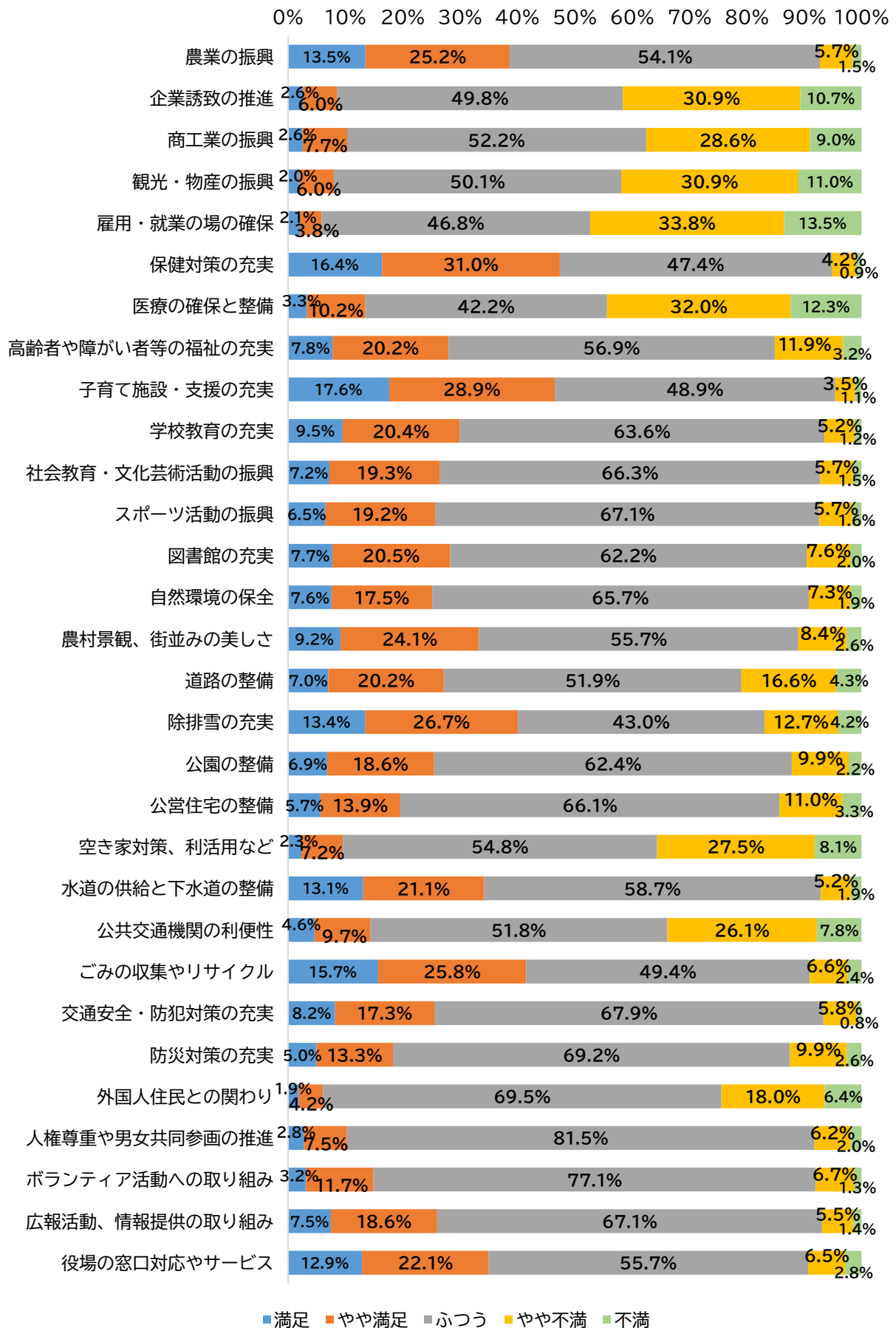
【重要度 評価の高い上位3項目と低い上位3項目（年代別）】

年代	トップ1位	トップ2位	トップ3位
全体	農業の振興	保健対策の充実	子育て施設・支援の充実
15～17歳	農業の振興	学校教育の充実	医療の確保と整備
18～29歳	農業の振興	学校教育の充実	子育て施設・支援の充実
30～39歳	農業の振興	子育て施設・支援の充実	保健対策の充実
40～49歳	農業の振興	医療の確保と整備	子育て施設・支援の充実
50～59歳	農業の振興	医療の確保と整備	保健対策の充実
60～69歳	農業の振興	子育て施設・支援の充実	保健対策の充実
70～79歳	農業の振興	ごみの収集やリサイクル	保健対策の充実
80歳以上	農業の振興	子育て施設・支援の充実	ごみの収集やリサイクル
年代	ワースト1位	ワースト2位	ワースト3位
全体	外国人住民との関わり	ボランティア活動への取り組み	人権尊重や男女共同参画の推進
15～17歳	外国人住民との関わり	ごみの収集やリサイクル	空き家対策、利活用など
18～29歳	外国人住民との関わり	ボランティア活動への取り組み	人権尊重や男女共同参画の推進
30～39歳	ボランティア活動への取り組み	外国人住民との関わり	人権尊重や男女共同参画の推進
40～49歳	ボランティア活動への取り組み	人権尊重や男女共同参画の推進	外国人住民との関わり
50～59歳	ボランティア活動への取り組み	外国人住民との関わり	人権尊重や男女共同参画の推進
60～69歳	ボランティア活動への取り組み	外国人住民との関わり	人権尊重や男女共同参画の推進
70～79歳	観光・物産の振興	空き家対策、利活用など	外国人住民との関わり
80歳以上	外国人住民との関わり	観光・物産の振興	空き家対策、利活用など

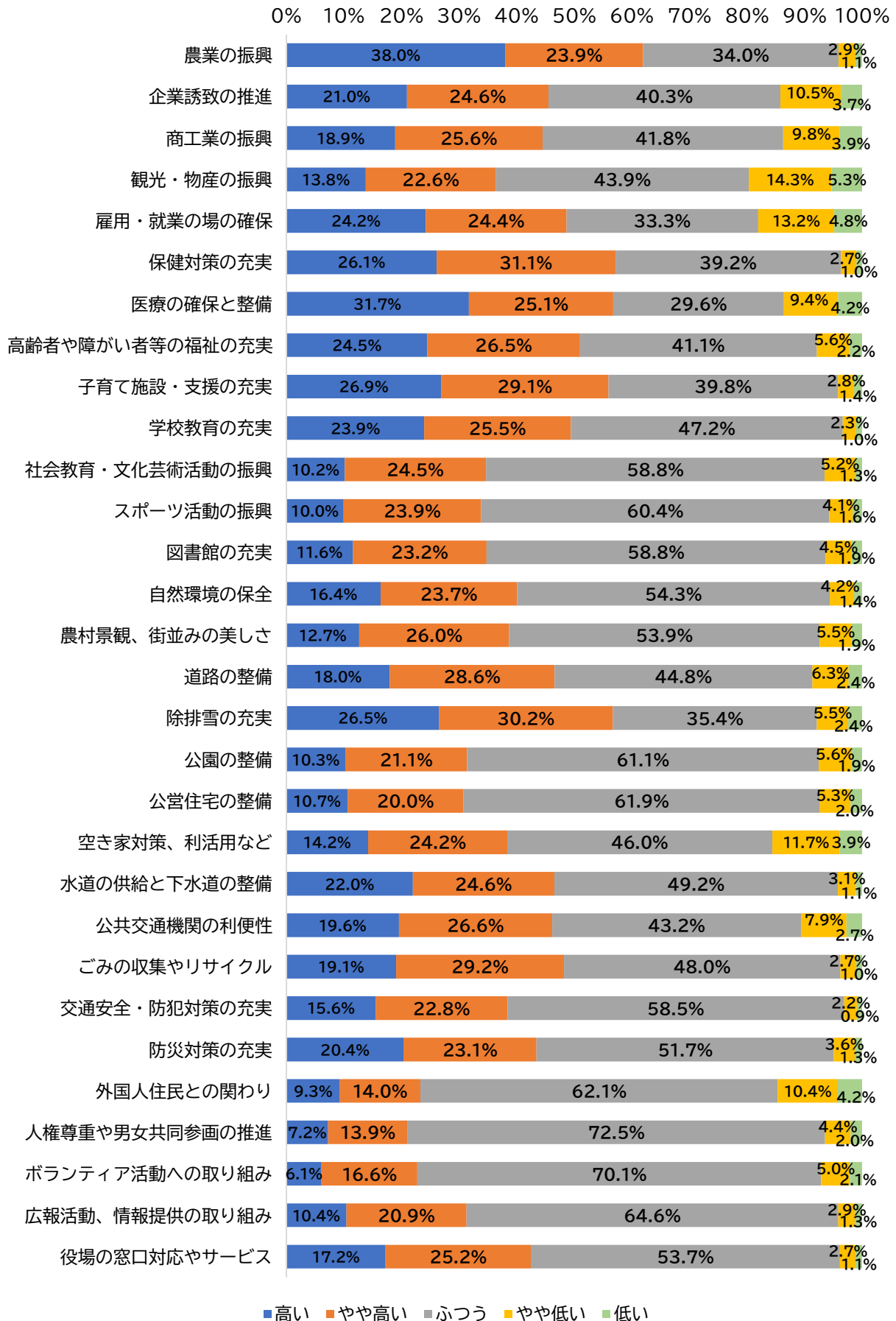
【二一ズ度 評価の高い上位3項目と低い上位3項目（年代別）】

年代	トップ1位	トップ2位	トップ3位
全体	医療の確保と整備	雇用・就業の場の確保	企業誘致の推進
15～17歳	公共交通機関の利便性	医療の確保と整備	企業誘致の推進
18～29歳	医療の確保と整備	雇用・就業の場の確保	観光・物産の振興
30～39歳	医療の確保と整備	雇用・就業の場の確保	観光・物産の振興
40～49歳	医療の確保と整備	雇用・就業の場の確保	企業誘致の推進
50～59歳	医療の確保と整備	雇用・就業の場の確保	企業誘致の推進
60～69歳	医療の確保と整備	雇用・就業の場の確保	企業誘致の推進
70～79歳	医療の確保と整備	雇用・就業の場の確保	商工業の振興
80歳以上	医療の確保と整備	企業誘致の推進	雇用・就業の場の確保
年代	ワースト1位	ワースト2位	ワースト3位
全体	ボランティア活動への取り組み	広報活動、情報提供の取り組み	社会教育・文化芸術活動の振興
15～17歳	子育て施設・支援の充実	図書館の充実	広報活動、情報提供の取り組み
18～29歳	図書館の充実	ボランティア活動への取り組み	広報活動、情報提供の取り組み
30～39歳	ボランティア活動への取り組み	広報活動、情報提供の取り組み	図書館の充実
40～49歳	農村景観、街並みの美しさ	ボランティア活動への取り組み	図書館の充実
50～59歳	公園の整備	広報活動、情報提供の取り組み	社会教育・文化芸術活動の振興
60～69歳	社会教育・文化芸術活動の振興	スポーツ活動の振興	ボランティア活動への取り組み
70～79歳	公園の整備	広報活動、情報提供の取り組み	ごみの収集やリサイクル
80歳以上	ごみの収集やリサイクル	公園の整備	ボランティア活動への取り組み

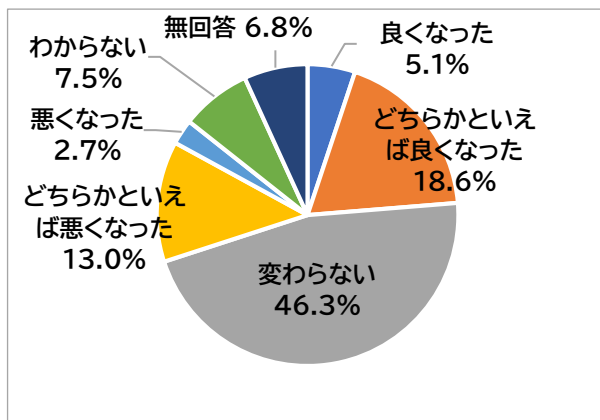
満足度割合の状況



重要度割合の状況



問4 平成29年度から令和8年度までの10年間であなたの訓子府町での暮らしの変化について、どのように思いますか。【○は1つだけ】



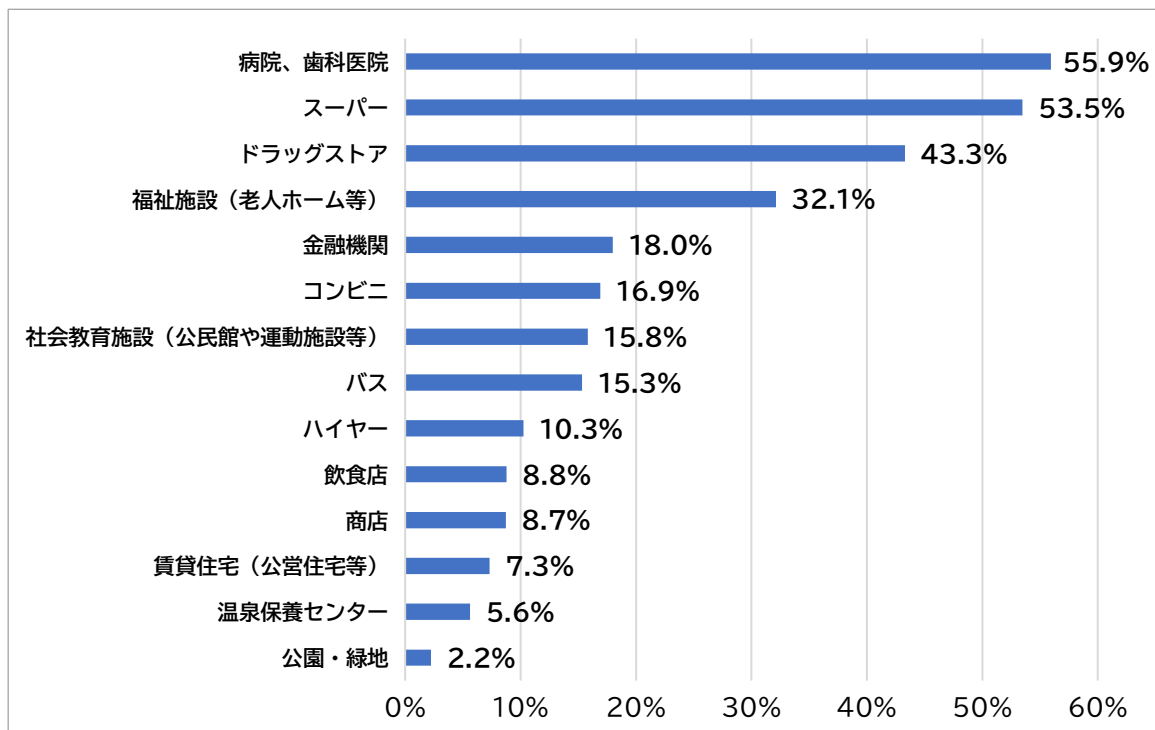
「変わらない」が46.3%と最も多く、「良くなった」と「どちらかといえば良くなった」合わせて23.7%の方が良くなったと回答しており、「悪くなった」と「どちらかといえば悪くなった」合わせて15.7%という結果となっています。

年齢別：「良くなった」と「どちらかといえば良くなった」と回答した割合が最も多かったのが「30～39歳」の23.7%で、次いで「18～29歳」の23.3%となっています。一方、その割合が最も低かったのが「70～79歳」の13.5%で、次いで「60～69歳」の14%となっています。

職業別：「良くなった」と「どちらかといえば良くなった」と回答した割合が最も多かったのが「農林業」の23.6%で、次いで「公務員・団体職員」の20%となっています。一方、その割合が最も低かったのが「工業・建設業・製造業」の13%で、次いで「家事専業」の13.3%となっています。

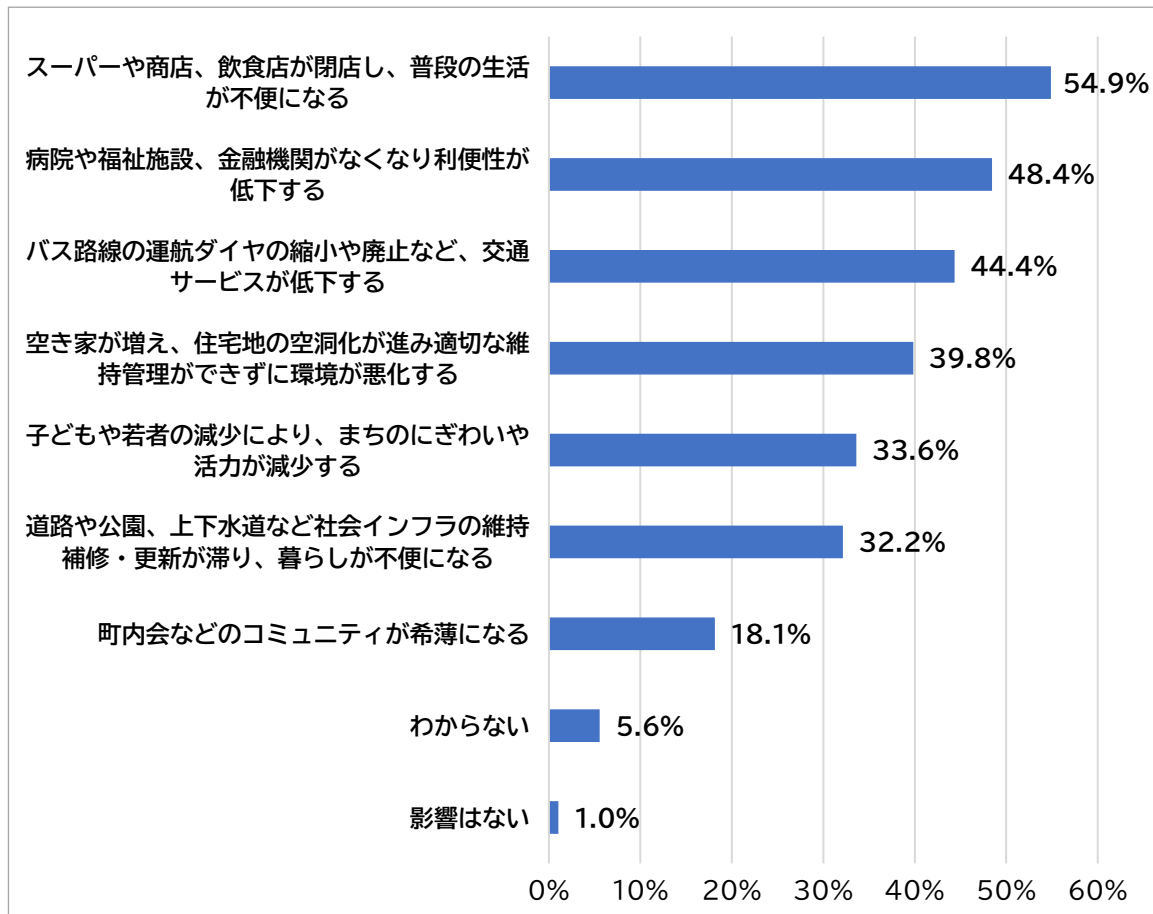
地区別：「良くなった」と「どちらかといえば良くなった」と回答した割合が実践会地区で20.3%に対し、町内会地区では15.5%となっています。

問5 今後の生活において、訓子府町に欠かせないと思う施設は何ですか。【○は3つまで】



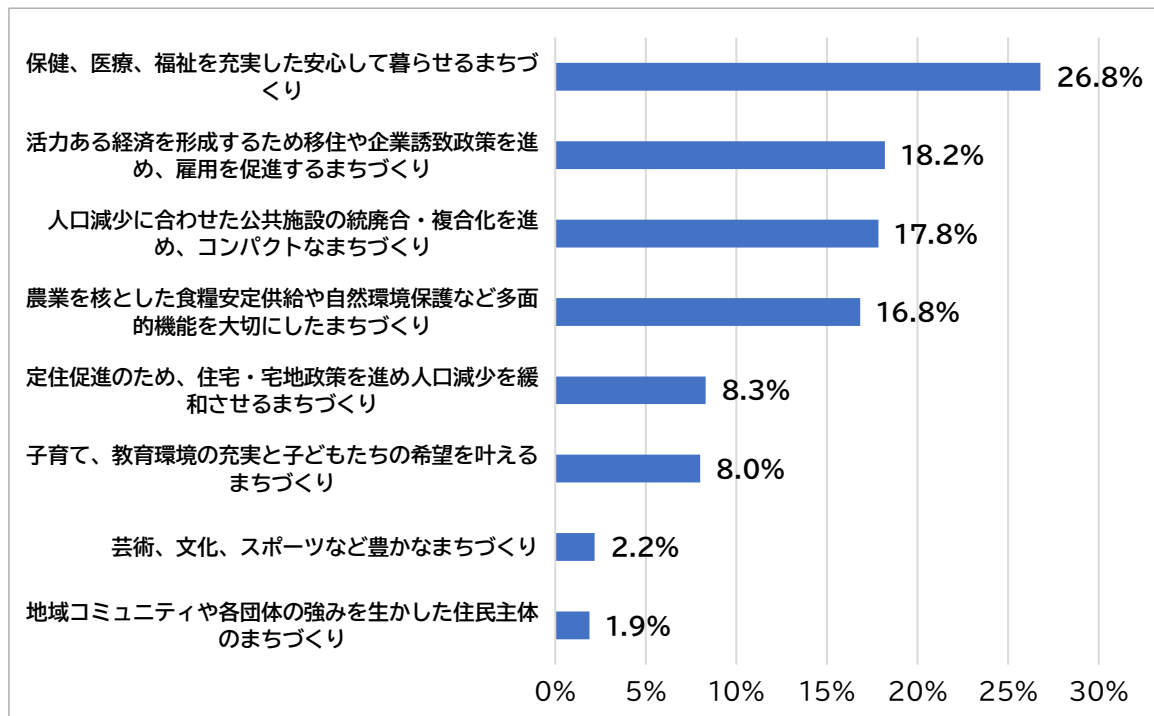
※このグラフの分母は、複数回答につき回答者実人数5,414人としています。「病院、歯科医院」が55.9%と最も多く、次いで「スーパー」が53.5%、「ドラッグストア」が43.3%の順となっています。

問6 人口減少や少子高齢化が進むことで想定される影響について、どのようにお考えですか。【〇は3つまで】



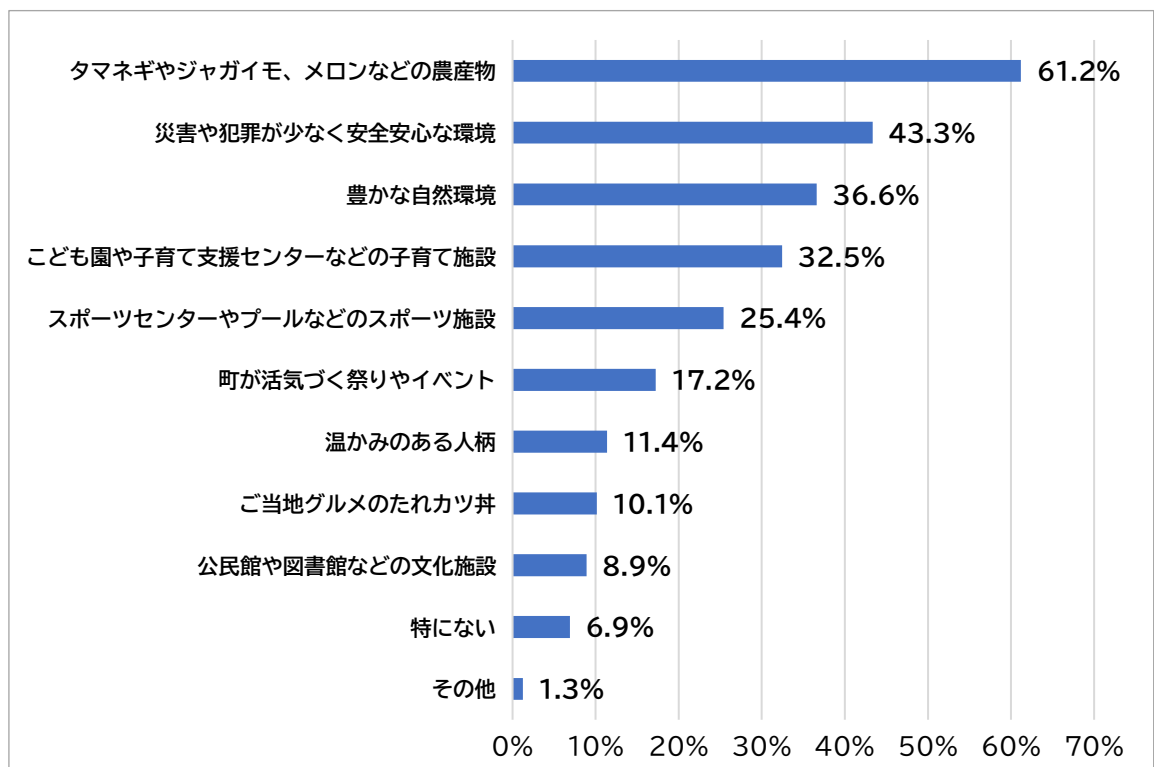
※このグラフの分母は、複数回答につき回答者実人数5,127人としています。
 「スーパーや商店、飲食店が閉店し、普段の生活が不便になる」が54.9%と最も多く、次いで「病院や福祉施設、金融機関がなくなり利便性が低下する」が48.4%、「バス路線の運航ダイヤの縮小や廃止など、交通サービスが低下する」が44.4%の順となっています。

問7 人口減少が想定され、より効率的で持続可能なまちづくりが求められます。今後のまちづくりについて、どのようにお考えですか。【〇は1つだけ】



「保健、医療、福祉を充実した安心して暮らせるまちづくり」が26.8%と最も多く、次いで「活力ある経済を形成するため移住や企業誘致政策を進め、雇用を促進するまちづくり」が18.2%の順となっています。

問8 あなたは、訓子府町で自慢できることや、これからも大事に残していきたいと思うことは何ですか。【〇は3つまで】

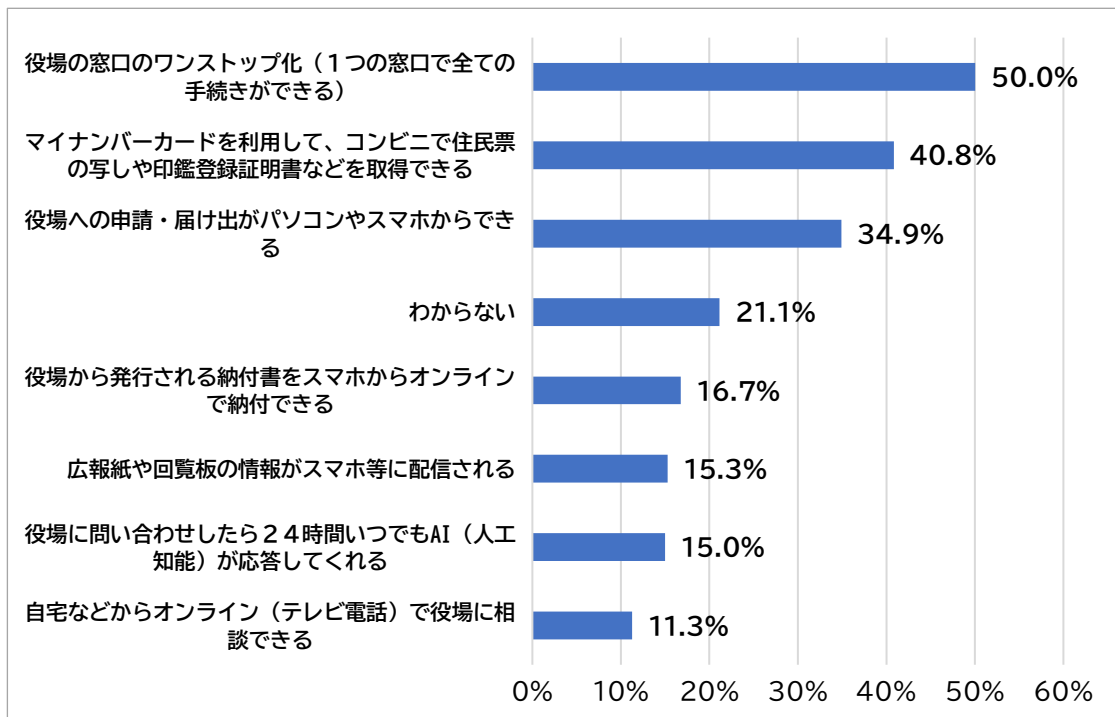


「その他」の意見

- ・畑、農地
- ・野菜ができること
- ・酪農家のレベルが高い
- ・「酪農」と言う言葉が無いのが残念です
- ・水がおいしい
- ・飲み水がおいしい。PRしては？
- ・子供の教育支援
- ・子どもの医療費支援
- ・訓高持続への支援
- ・音楽などの芸術
- ・住めばわかる安心感
- ・むりせず今のままで良い
- ・ちょうどよい住みやすさ
- ・静かな生活環境
- ・最低限、今の生活環境
- ・安心できる福祉
- ・病院、商店、高校、施設等維持
- ・きれいに整備された道路や施設などの環境
- ・公共施設が綺麗
- ・温泉保養施設
- ・温泉保養センターの利用料金の安さ
- ・町民の共助
- ・健全財政

※このグラフの分母は、複数回答につき回答者実人数4,689人としています。
 「タマネギやジャガイモ、メロンなどの農産物」が61.2%と最も多く、次いで「災害や犯罪が少なく安全安心な環境」が43.3%、「豊かな自然環境」が36.6%の順となっています。

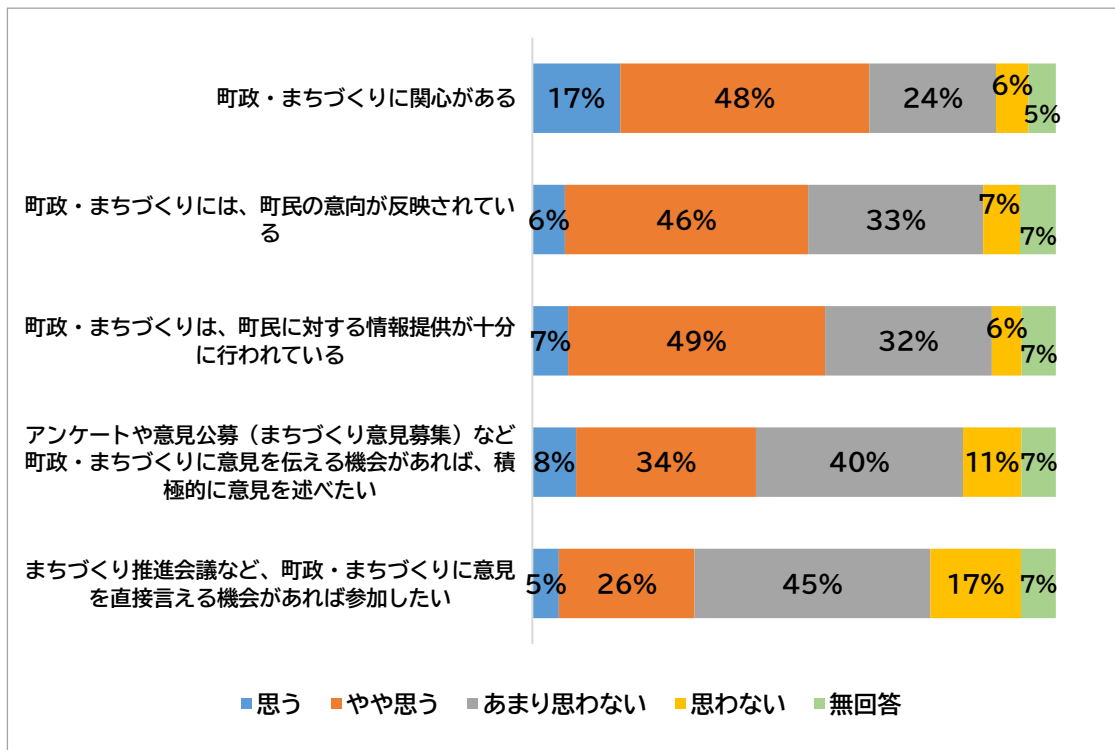
問9 訓子府町の行政サービスのデジタル化について、どのような手続きのデジタル化を期待しますか。【〇は3つまで】



※このグラフの分母は、複数回答につき回答者実人数3,835人としています。
 「役場の窓口のワンストップ化（1つの窓口で全ての手続きができる）」が50%と最も多く、次いで「マイナンバーカードを利用して、コンビニで住民票の写しや印鑑登録証明書などを取得できる」が40.8%となっています。

年齢別：「60歳代以上」の最も多い回答の「役場の窓口のワンストップ化（1つの窓口で全ての手続きができる）」が54.1%に対し「50歳代以下」は45.4%となり、「50歳代以下」が最も多い回答の「役場への申請・届け出がパソコンやスマホからできる」が53.8%に対し、「60歳代以上」は21.3%となっています。

問10 あなたは、訓子府町のまちづくりや町民参加についてどのようにお考えですか。
【次の各項目の数字に、それぞれ○を1つずつ】



「町政・まちづくりに関心がある」で「思う」と「やや思う」合わせて65%に対し、「意見を述べたい」という方は42%、「会議などに参加したい」という方は31%となっています。「町民の意向が反映されている」に「思う」と「やや思う」合わせて52%で、「情報提供が十分に行われている」に「思う」と「やや思う」合わせて56%となっています。